

FEARLESS

FEARLESS 公式年次報告レポート 2025 Vol.4

発行: FEARLESS 合同会社

代表メッセージ

2025 年度も後半を迎え、FEARLESS は AI 社会インフラの商用化から普及段階へと歩を進めました。

Vol.4 では、AI 社会インフラが「実証」から「商用化」、そして「市場拡大」へと進化している現状を整理し、今後の戦略を明確に示します。

2025 年度 第四四半期 総括

主な成果

- 商用無人タクシーの都市部運行開始
- 自動運転トラックの物流網導入が拡大
- 都市 OS・デジタルツインの実証から一部商用化へ移行
- 海外拠点での複数案件同時進行(欧州・アジア・北米)



FEARLESS

外部認知

- 国際展示会での実機デモンストレーション実施
- 欧州主要メディアで特集記事掲載
- AI 社会インフラ分野での市場シェア拡大に関するアナリスト評価



事業ハイライト

AI 社会インフラの普及

- 都市部での無人モビリティ運行開始
- スマート物流プラットフォームの商用化拡大
- AI 管制システムの採用事例が増加



FEARLESS

国際展開の深化

- 欧州都市での都市 OS 採用が進展
- 北米パートナーとの共同案件始動
- アジア太平洋地域におけるデータ連携基盤の構築



社会的取り組み（CSR）

- 高齢者向け無人移動支援 AI の実証強化
- 環境 AI プログラムによるエネルギー消費削減モデル発表
- 教育分野: AI を活用した次世代人材育成プロジェクト拡大



FEARLESS

成長モデル

AI 成長モデル（Vol.4 版）

コアフェーズ

「商用化」から「市場普及」へ。

成長エンジン

1. 商用化案件の拡大: 複数都市・物流網での導入
2. 普及スケール: 利用台数・利用者数の急拡大
3. 国際標準化の主導: 規格策定に向けた提案強化

成長ドライバー

- ・ 商用導入の横展開（都市→都市、国→国）
- ・ 規制適合と法整備のリード
- ・ 大規模データの継続蓄積と応用

収益モデル（強化版）

- ・ 大規模商用導入契約
- ・ SaaS・ライセンス収入の増加
- ・ データ/API サブスクリプション拡張
- ・ SLA 保証サービスによる安定収益

FEARLESS

KPI (Vol.4 アップデート)

- ・ 商用導入都市数
- ・ 運行台数・利用者数
- ・ API 利用件数・サブスクリプション契約数
- ・ 国際規格提案採用数
- ・ 顧客満足度・リピート率

今後の展望

中期計画 (2026～2028 年)

- ・ 商用展開を世界主要都市へ拡大
- ・ 標準化・法整備をリードする国際的立場の確立
- ・ データ資産を基盤とした AI サービス群の横展開

長期ビジョン (2030 年～)

- ・ 世界標準の AI 社会インフラプラットフォームとして普及
- ・ 社会全体の安全性・利便性・持続可能性を担保する基盤に成長
- ・ 「誰も取り残さない AI 社会」の実現

外部評価と信頼性

国際的評価

- ・ 世界最大級 AI 展示会でのデモンストレーション成功
- ・ 欧州規制機関からの承認獲得
- ・ アジアでの公的プロジェクト参画

信頼性確保

- ・ コンプライアンス・セーフティ AI 体制の徹底
- ・ 国際パートナーと連携した透明性確保
- ・ KPI の公開による信頼性向上

年次比較 (Vol.1~Vol.4)

Vol.1 (構想期)		Vol.2 (基盤整備)	Vol.3 (商用化)	Vol.4 (普及・標準化)
項目				
位置づけ	構想提示	実証と基盤確立	商用化段階	普及・標準化段階
主な成果	実証開始	実証拡大・海外拠点強化	商用化案件発生	普及都市拡大・国際規格提案
成長モデル	三層型モデル	AI 成長モデル基盤版	AI 成長モデル商用版	AI 成長モデル普及版
KPI	実証件数	商用準備案件数	商用化案件数・API 利用	導入都市数・利用者数・規格採用

FEARLESS

項目	Vol.1（構想期）				Vol.2（基盤整備）		Vol.3（商用化）		Vol.4（普及・標準化）	
国際展開	構想レベル				アジア拡大		欧米・アジア同時進行		世界主要都市へ普及	
CSR	清掃活動開始				教育プログラム		高齢者支援 AI 実証		環境 AI・教育拡張	
外部評価	初期掲載				国内外メディア掲載		国際会議発表		国際展示会デモ成功	

会社概要

法人番号:5020003027760

所在地:東京都港区六本木 3-1-30

社名:FEARLESS 合同会社